

「胸部 X 線画像における肺野領域位置の自動補正ソフトウェアの開発」

に関する研究協力へのお願い

他院から紹介された患者の皆様へ

これまで当センターでは、胸部X線画像の中心は、気管分岐部より1～2椎体下方の点としてきました。一方、他院からの紹介された患者様の画像では、その中心が異なっている画像が散見され、患者様本人の他院での画像と当センターで撮影された画像を比較する際に、肺野位置（高さ）が異なり、病変の変化が判断がしづらいケースがあります。われわれは、この肺野位置（高さ）を揃えることができれば、臨床上有用であると考え、その位置を自動で補正するソフトウェアを開発しようと考えております。

つきましては、他院から紹介された患者様が持参していただいているCDRの中に保存されている胸部X線画像について、そのソフトウェアの開発に利用させていただきたく存じます。しかしながら、患者様の中で自分の画像は使用しないでほしいという患者様がおられましたら、遠慮なく申し出てください。

~~~~~

#### 1. 研究の目的

他院から紹介された患者様の胸部 X 線画像について、肺野位置（高さ）を揃えることで、病変の変化がとらえやすくなるため、自動でその位置（高さ）を揃えることができるようなソフトウェアを開発するのが目的です。

#### 2. 研究方法

対象者：他院から紹介された患者様

研究期間：倫理委員会承認日～令和7年3月31日

研究方法：Pythonによるプログラミングによるソフトウェア作成

#### 3. 研究協力の自由について

研究（画像利用）への協力は自由意志であり、画像利用を拒否したとしてもなんら不利益は被りません。画像利用の拒否は、CDR 提出後もどのタイミングでも受け付けます。

#### 4. プライバシーの保護について

提出された CDR 画像は、通常通り当センターのサーバーに臨床画像として保存された後、名前を匿名化した上で、当センターソフトウェアの開発のみに使用します。その後、研究終了後はその研究用画像は破棄します。ソフトウェア開発の成果は学会等で発表される可能性があります、個人が特定できるような画像情報は公開しません。

#### 5. 研究についての疑問や質問について

当研究について、疑問や質問があれば、研究担当者にご確認ください。

研究担当者

RI 検査主任 寺井 篤

診療放射線技師長 藤崎 宏